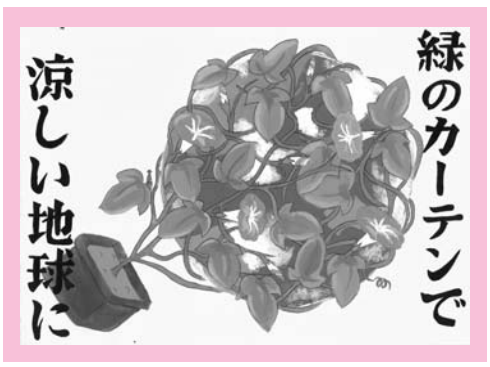
ポスター【中学校の部】



●**最優秀賞**　福山市
駅家南中学校　３年　西田　玲奈

●**優秀賞**　庄原市
西城中学校　３年　吉浪　拓未

●**優秀賞**　府中市
府中中学校　１年　秋山　晴海

●**優秀賞**　府中市
南小学校　４年　佐藤　旭

●**優秀賞**　大崎上島町
大崎小学校　６年　大成　明稲

ポスター【小学校高学年の部】

●**最優秀賞**　福山市
松永小学校　４年　前田　樺乃

●**優秀賞**　江田島市
江田島小学校　６年　中畑　遙

平成23年度
環境啓発ポスター・標語コンクール
選　考　委　員　（敬称略）

●広島大学名誉教授
広島ペンクラブ会長　務中　昌己

○広島修道大学名誉教授　森　嶋　　彰

○広島大学大学院教育学研究科
造形芸術教育学教授　内田　雅三

○広島県環境県民局環境部
部長　久保田泰秀
（代理：環境政策課主幹　柳井　義正）

○中国新聞社論説委員　岩　崎　　誠

○地球温暖化対策地域協議会
地球温暖化対策はつかいちさくら協議会理事
菅川　真弓

●は委員長

■ポスター〈中学校の部〉
大崎上島町大崎上島中学校二年鳥居花○大崎上島町大崎上島中学校三年松本早織○世羅町甲山中学校一年明﨑麻結○北広島町豊平中学校三年陣川大生○府中市府中中学校一年石田久美子○神石高原町神石中学校三年矢廻野乃佳
福山市御野小学校六年野田富照○福山市宜山小学校六年梅澤友香○福山市道上小学校五年小湟実佳

環境と健康のコミュニティ活動助成事業

念願かなう！環境啓発ポスター掲示

ごみ分別や美化のきっかけに

～大崎上島町公衛協　梅澤会長に聞く～

環境啓発ポスター・標語コンクールの応募作品の活用について、大崎上島町公衆衛生推進協議会の梅沢恵子会長に話を伺った。

●会長念願の事業だったそうですね

平成十八年度、環保協のCコース研修（企画づくり研修）を受講。この頃、大崎上島町ではごみ分別のルールが変わったばかりで、町民にごみについて考えてもらう企画が必要だと考えていました。そこで、子どもたちの作品を町内やごみステーションに掲示して、ごみの削減や正しい分別の仕方、ごみステーションの美化の意識を高める企画を立てました。しかし、学校への依頼や作品の掲示方法など課題が多く、すぐに実現できませんでした。

そんなところに、平成二十年度から環保協の基金活用事業「環境啓発ポスター・標語コンクール」がスタート。公衛協として学校に協力を依頼できる仕組みができ、児童・生徒のみなさんから、環境をテーマとしたポスター・標語を出してもらえるようになりました。

●提出された作品をどのように活用されていますか。また、町民の反応はいかがですか

平成二十年度は、港や銀行、学校など一部の掲示にとどまっていたのですが、平成二十一年度・二十二年度は、野外の掲示に耐えられるように作品のラミネート加工をしたり、入選した子どもたちが住む地域のごみステーションに作品を掲示するなど、工夫を凝らしました。

また、自治会が回覧板でごみステーションに掲示された作品を紹介してくださったり、保護者から掲示場所の問い合わせがあったりと、工夫の成果を感じます。

●この事業を通じた今後の展望をお聞かせください

ごみの出し方や分別方法については、まだまだ多くの課題があります。住民の分別意識の徹底や、ごみステーションの美化などをPRしていき、快適な生活環境を守っていきたいと考えています。

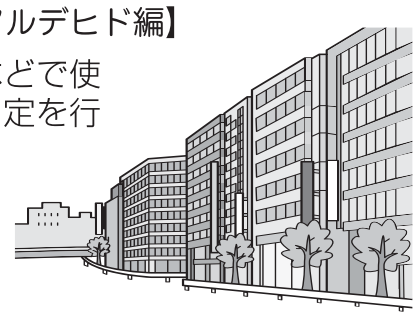
（編集部）

作品の掲示をする推進委員（上）、掲示のため作品の加工作業をする推進員（下）

職場環境は快適ですか？

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド（ホルマリン）について、作業環境測定を行う必要があります。
当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。
お気軽にお問い合わせください。



○問合せ先○　〒730-8631　広島市中区広瀬北町９－１
（財）広島県環境保健協会　環境生活センター　環境調査課
TEL：082（293）1511（大代表）　FAX：082（293）5049　ＵＲＬ：http://www.kanhokyo.or.jp/